

【都道府県用中間報告書様式】

都道府県番号	27
都道府県名	大阪府

・学力向上推進地域名及び学校数、学力向上フロンティアスクール数

学力向上推進地域名	小学校 (うちフロンティアスクール数)	中学校 (うちフロンティアスクール数)	計 (うちフロンティアスクール数)
大阪府	1030校 (27校)	463校 (20校)	1493校 (47校)

・学力向上推進協議会(地区協議会)の設置数及び域内の学校数

地区協議会名	小学校 (うちフロンティアスクール数)	中学校 (うちフロンティアスクール数)	計 (うちフロンティアスクール数)
豊能地区協議会 (豊中市 池田市 箕面市 能勢町 豊能町)	76校 (3校)	34校 (3校)	110校 (6校)
三島地区協議会 (吹田市 高槻市 茨木市 摂津市 島本町)	126校 (4校)	57校 (2校)	183校 (6校)
北河内地区協議会 (守口市 枚方市 寝屋川市 大東市 門真市 四條畷市 交野市)	140校 (2校)	64校 (4校)	204校 (6校)
中河内地区協議会 (東大阪市 八尾市 柏原市)	93校 (3校)	47校 (2校)	140校 (5校)
南河内地区協議会 (富田林市 河内長野市 藤井寺市 松原市 羽曳野市 大阪狭山市 美原町 河南町 太子町、千早赤阪村)	90校 (4校)	40校 (2校)	130校 (6校)
泉北地区協議会 (堺市 和泉市 泉大津市 高石市 忠岡町)	128校 (5校)	57校 (2校)	185校 (7校)
泉南地区協議会 (岸和田市 貝塚市 泉佐野市 泉南市 阪南市 熊地町 田尻町 岬町)	78校 (4校)	35校 (3校)	113校 (7校)
大阪市地区協議会	299校 (2校)	129校 (2校)	428校 (4校)

・都道府県教育委員会としての支援策

(実践研究の成果の普及方策の構築、指導資料の作成 等)

(1) 地区別協議会に対して

- ・大阪府の共通研究課題として、一人一人の子どもの実態に応じたきめ細かな指導の一層の充実をめざし、少人数授業などの多様な指導形態を実践し授業改善を図ることと位置づけ、特に「習熟度別指導」については、フロンティアスクールが積極的に実践研究に取り組み、地区別協議会における授業公開などにより、どのような場面(学年、教科、単元、学習活動等)で効果的であるか明らかにするよう努めた。また、第七次の加配を有効に活用しながら、学校全体の指導体制を構築し、学級、学年、校種の壁を超えて授業改善が具現化されるよう、協議を深めた。
- ・地区別協議会の実施については、成果の普及方策として、以下の点を工夫した。
 - ・フロンティアスクールは必ず公開授業により研究報告を行うこと。
 - ・複数の地区協議会による合同開催を適宜行い、府内全域の情報交換の活性化を図った。
 - ・フロンティアスクールの新規校が24校あるため、継続校の23校との取組の進捗状況を踏まえながら、地区別協議会の実施形態を工夫した。

- ・小学校、中学校（校種）別のフロンティアスクールによる推進協議会を適宜開催し、校種別の課題を解決するための研究協議が深まるようにした。
- ・地区別協議会を拠点として、日常的なフロンティアスクール間のネットワークづくりを推進するよう図った。
- ・フロンティアスクール以外の学校関係者が地区協議会へ積極的に参加するよう推奨した。
- ・平成13年度より実施している「明日を拓く学校づくり」推進事業（小中連携による基礎・基本の定着と「確かな学力」の向上をねらいとする大阪府独自事業）のモデル中学校区に参加を呼びかけ、大阪府内における実践的研究の交流・推進を図った。

(2) 域内の学校（学力向上フロンティアスクール含む）に対して

- ・フロンティアスクールを中心に学校訪問を実施し、授業参観により推進上の課題等を明確にし、指導助言を行った。
- ・フロンティアスクールの指定を受けていないが、着実に実践を積み重ねている学校に対しては協力校として位置づけ、フロンティアスクールと同様に研究に取り組む機会を与え、支援を行った。
- ・市町村教育委員会に対するヒアリングを通して、域内の学校に対しては、地区協議会への参加や取組みの提供等を行うよう指導した。
- ・府教育センターで実施される研修会をはじめ、その他の研修会等において、フロンティアスクールが研究成果を発表する場を設け、研究成果の普及を図った。（例「読書の楽しさ発見フォーラム」人権教育研究協議会主催研究集会分科会「学力保障と授業づくり」）
- ・フロンティアスクールのフロンティアティーチャー対象の研修会を7月17日に開催した。（講師：東京大学大学院教授 市川伸一「学ぶ意欲とスキルを育てる学習相談室の取組から」）
- ・地区別協議会の内容をホームページに掲載し、タイムリーな研究成果の普及に努めた。
- ・実践研究の成果の普及の方策の構築
 - ・地区別協議会を校種別や課題別、他地区との合同など多様な形態により適宜開催し、フロンティアスクール間の実践研究のより一層の推進を図った。
 - ・地区別協議会に域内の学校が出席できるよう、市町村教育委員会と連携するとともに、原則として授業公開による具体的な実践研究の成果の普及を図った。
 - ・各地区別協議会の内容について、府教育委員会のホームページにより情報発信に努めた。

・学力把握のための都道府県としての取組について

- ・全フロンティアスクールを対象に、推進上の課題及び方策を明らかにするため、府独自のアンケート調査を実施。（平成15年2月実施）
- ・平成15年5月、府独自の学力等実態調査を実施。結果発表平成16年3月末予定。

・学力向上推進協議会について

(1)開催時期及び参加対象

(第1回)平成15年5月6日(火)(第1回)

(フロンティアスクール関係者、市町村教育委員会関係者)

(第2回)平成16年3月22日(月)(第2回)開催予定

(フロンティアスクール関係者、市町村教育委員会関係者)

(2)協議会の主な内容等

(第1回)第1部

- ・本年度事業推進方策について
- ・指導講話「一人一人を大切にした授業づくり」
講師：大谷女子大学 教授 西川 信廣

第2部

- ・地区別協議会の推進方策等について
各フロンティアスクールの本年度の実施計画について

(第2回)予定

第1部：本年度事業の成果と課題

- ・フロンティアスクールからの特色ある取組事例の報告
- ・指導講話「大阪府学力向上推進事業の成果と課題
大阪府がめざす「習熟度別指導」とは - 」
講師：大谷女子大学 教授 西川 信廣

第2部：地区別協議会の成果と課題

- ・「最終年度の研究成果の効果的普及方策について
各フロンティアスクールの取組
各市町村教育委員会の具体的支援の明確化

・実施計画書において示した「事業評価の実施方法・内容」とその進捗状況

(事業評価の実施方法)

各フロンティアスクールにおける実践について、児童生徒の変容や効果測定に関する報告を義務付け、その研究成果を府内の各小・中学校に周知し、教育実践に反映させていく。

<事業評価の観点と取組状況>

大阪府全域が「学力推進地域」であることから課題の共有化が重要である。そのため、フロンティアスクールを所管しない市町村教育委員会(8市町村)の地区協議会への参加状況から事業評価を実施する。

【進捗状況】

府内44全ての市町村から地区別協議会への参加を得た。また、フロンティアスクール以外の学校からも授業公開等の提案があったことから、課題の共有化が進められたと評価している。

フロンティアスクールの実践研究を府内の小・中学校へ普及するために、各地区協議会の運営(回数、授業公開等)の観点から事業評価する。

【進捗状況】

全ての地区別協議会を開催するとともに、すべてのフロンティアスクール45校（大阪市を除く）からの授業公開の実施、他の地区協議会との合同開催など多様な形態による開催などができたことから、府内の小・中学校への研究成果の普及ができたと評価している。

<課題>

第七次による加配を活用して学校内の指導体制を創意工夫し、学級、学年、校種の壁を超えた授業改善をより一層推進すること。特に小学校と比べて、中学校の教科の壁を超えた指導法に関する研究体制は十分とはいえず状況が見受けられることから、中学校の教員が小学校の授業研究に参加するなど、小・中学校の連携をより図った授業改善が大きな課題となっている。

少人数授業による習熟度別指導に対する理解が十分に得られていない学校が少なからずあるなど学校格差が生じていることから、市町村教育委員会との連携を強固にし、フロンティアスクールの授業公開を活用するなど効果的な研究成果の普及方策を早急に検討することが課題であると受け止めている。

【地区別協議会における特色ある取組】

- ・市町村教育委員会担当者による情報交換会を別途設け、各学校への指導助言の充実を図った。（北河内、中河内、南河内、泉北、泉南地区協議会）
- ・フロンティアスクールの新規指定と継続校の取組状況を踏まえ、成果の普及を目的とする大規模な協議会は新規校で実施するようにした。（北河内、中河内、南河内地区協議会）
- ・フロンティアスクールの指定を受けていないが、着実に実践を積み重ねている学校に対しては、実践報告の場を提供した。（北河内、中川内、南河内、泉南地区協議会）
- ・小・中連携によるフロンティアスクールの授業公開を実施した。（泉北、泉南地区協議会）
- ・他府県（広島県）の中学校の参観者と意見交流を実施した。（南河内地区協議会）
- ・取組をまとめてホームページを作成した。
（豊能、三島、北河内、中河内、南河内、泉北、泉南地区協議会）
- ・「大阪市教育改革フォーラム」でフロンティアスクールからの取組を発表。
（大阪市協議会）

【特色あるフロンティアスクールの取組事例】

個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善

大阪市立大江小学校

東大阪市立長瀬北小学校

貝塚市立第三中学校